

<週報No. 2, 927> 3, 038 回例会

2020年9月18日(金)

■会長/岩波 寿亮 ■幹事/小口 泰幸

◆司会=小針 哲郎 SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー=No.32 山本實君

◆ニコニコボックス=●岩波寿亮君=本日は「ロータリーの友特別月間」と「前年度決算の承認と新年度予算の報告」です。よろしくお願ひいたします。●小口泰幸君=先日のゴルフ例会お疲れ様でした。運よく優勝させていただきました。ありがとうございました。●東本清文君=異動で今月末をもちまして諏訪を離れることになりました。3年間、大変お世話になりました。●北川和彦君=東本さん、短い間でしたがお世話になりました。小牧に行かれても頑張ってください。●小島拓也君=東本さん、お世話になりました。ゴルフ例会ありがとうございました。●飯田兼光君=結婚祝いにお花を頂いてありがとうございました。●山田文雄君、橋詰将慎君、花岡秀則君=本日は会報・雑誌・広報委員会の担当例会です。よろしくお願ひいたします。●山本實君=ラッキーNo にあたって。

◆会長告知・岩波寿亮会長=昨日の新聞のコラムに<「日本を、取り戻す」。それが先月、急遽退陣を発表した安倍政権のキャッチフレーズだった。それに習って言えば、菅政権に求められているのは、何よりも「日常を取り戻す」ことだろう>という一文がありました。確かにそうだろうな、と思いつつも、日常とはいつの、いかなる日常なのかと思ひ巡らしました。もう成長よりも成熟を求める時代だしと考えながら、確かにデジタル化を進めて、健康保険証も運転免許証もマイナンバーカード1枚でいいよな、と思うとデジタル・IT 担当大臣が登場して当然だと思ひながら、これは成長と成熟のどちらなのかと悩みます。

リモートワークとかワーケーションとか、新しいワークスタイル、生活様式により働くことの変化が今後の、例えば諏訪地域にどんな影響が出るのか、場所にとられない働き方の推進は、この地域にとっては絶対後

押しになるはずだし、もしそれが地域の活性化にとってチャンスならば、自分たちのビジネスは、あるいはこの地域は、どう舵を取るべきか、そんなことを考える今日この頃です。

さて最近ジョブ型雇用という言葉をよく聞きますが、「新型コロナで5年後の世界が近づいた」という表現もありました。住み、働くことが、働く人や家族だけでなく、企業そのものの地方移転へ発展ということだって考えられます。

内閣が変わりましたが、季節も変わり、秋が来ました。コロナ禍で長い梅雨の後はとても暑い夏、私にとってはあつという間でした。そんな中、諏訪地域6市町村を巻き込み、トライアスロン大会実現に向けて動き出しています。諏訪湖で泳げるということは画期的です。泳げる諏訪湖になったわけです。また、八ヶ岳山麓を自転車の聖地にしたいと考えています。おそらく初めての「諏訪はひとつ」のイベントになります。皆様のご協力なしにはできません。是非ともご協力をお願いいたします。

◆幹事報告・小口泰幸幹事=①本日は会報・雑誌・広報委員会担当のクラブフォーラム「ロータリーの友特別月間」と8月28日に予定し、休会のため出来なかった会計・監事担当のクラブ協議会「前年度決算の承認と新年度予算の報告」を行います。②中部電力パワーグリッド(株)諏訪営業所長の東本清文会員が10月1日付でご栄転となり本日が最後の例会となります。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。後ほど、ご挨拶をいただきます。③以前ご紹介した「日本のロータリー100周年」の記念切手が本日発売されました。回覧いたしますので、各自でご購入して頂けたらと思います。④10月4日に上田市で開催される地区大会に参加して頂く方には「健康チェックシート」を配布しますので、ご記入の上、当日私まで提出をお願いいたします。なお、交通手段は後日連絡します。⑤本日、小口武男会員から米山奨学会へ10万円をご寄付いただきました。通算10回目になります。ありがとうございました。⑥次週25日は準法定休日となります。再来週10月2日はプログラム委員会担当の「会員卓話」となりますのでご準備のほどよろしくお願ひいたします。⑦本日、例会終了後、第6回理事会を開催しますので対象者はお集りください。

◆委員会報告・玉本広人会員=諏訪市出身で立命館大学映像学部にいる知人のご子息が卒業制作で地元を舞台に

した映画を撮影します。しかしコロナ禍でバイトができず、制作費用をクラウドファンディングで募っています。諏訪の魅力を伝えることが趣旨で、是非とも皆様にご協力をお願いいたします。

◆退会のご挨拶・東本清文会員＝今回、名古屋支社小牧営業所に移動になりました。3年間の短い期間ではごさ



いしましたが、皆様には大変お世話になりました。出席委員長約2年、会報・雑誌・広報委員1年、今年度は親睦・クラブ親善委員会でお世話になり、例会や親睦行事などを通じて多くのことを教えていただきました。この3年間を振り返りますと、「例会に出席すること」がとても大切であることを学びました。入会前に三井会員、有賀会員から「入会から3年間は例会出席を」とご指導いただき、私にできるかもと努めたところ、皆勤賞を頂くことができました。出席することで皆様からご指導いただき、各種奉仕活動を通じてロータリーの精神を学ぶことができたのだと実感しています。皆様に感謝申し上げますとともに、今後もロータリアンとしての活動にいかしていきたいと考えています。最後になりますが諏訪クラブのご発展、会員の皆さま、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◆クラブフォーラム ロータリーの友特別月間
●会報・雑誌・広報委員会 橋詰将慎委員長＝9月はロータリーの友特別月間で、日本独自に設定された月間テーマです。ロータリークラブの会員は、RIの発行する「The Rotarian」か、RIから認可された各地域で発行される雑誌を購読することが義務付けられています。日本では、「ロータリーの友」がRIから認可を受けた地域雑誌となっています。

「ロータリーの友」は1953年に1月号が創刊されましたが、発行部数が3,300部と少なく、創刊に携わったロータリアンは自らが走り回って苦労して広告を取ったという逸話があるようです。ちなみに2020年6月号の発行部数は9万4,500部（創刊時の約30倍）です。

今年7月号からの変更点としては、表紙に大きく英字で「Rotary」のロゴを入れるデザインになりました。全世界でロータリーという組織としての統一感を持たせることが目的だそうです。

最近、私が「ロータリーの友」の記事の中で毎月楽しみにしているものをご紹介します。今年度7月号から掲載されている「連載コミック ポール・ハリスとロータリー」です。ロータリー創始者のポール・ハリスの生い立ちがわかりやすくまとめられており、若いときに、非常に多くの人と関わり、様々な経験を積まれた人だということに改めて驚きました。今後も興味をもって読んでいきたいと思っています。

最後に「ロータリーの友」編集長の野崎恭子さんからのメッセージをご紹介します。＜ロータリーの友という雑誌は、どうしてもロータリーの話に偏りがちなのですが、できるだけ一般のロータリアンやそのご家族に読んでいただけるような雑誌になるのが目標です。入会歴の浅い会員さまからのご意見からは多くのことを気付かされることが多いです。ぜひ、お気軽にご投稿いただければと思います。今後ともご愛読くださいますようお願いいたします。＞以上です。

◆クラブ協議会
●決算報告・監査報告
《2019-20年度 諏訪ロータリークラブ会計報告》について、理事（会計）の前田剛彦会員より詳細説明、早出由男・前年度監事より監査報告がなされ、前年度決算が拍手をもって承認されました。また、前田会員より理事会承認済みの今年度予算について報告がありました。

◆今後の例会日程



◆今後の例会日程

10月2日	金	クラブフォーラム（会員卓話）
10月16日	金	クラブフォーラム（米山月間）
10月23日	金	アクト合同例会 （ローターアクト会員増強について）

◆今後の例会日程

◆今後の例会日程

◆今後の例会日程



◆今後の例会日程

10月2日	金	クラブフォーラム（会員卓話）
10月16日	金	クラブフォーラム（米山月間）
10月23日	金	アクト合同例会 （ローターアクト会員増強について）